国土交通省

# 金沢河川国道事務所
# 富山河川国道事務所

記者発表資料
平成28年 3月 16 日
配布：県政記者クラブ
扱い：配布後解禁

# 470 能越自動車道 七尾氷見道路
# 全線開通から1年、物流・生産性向上を支援

平成28年2月28日に能越自動車道七尾氷見道路が全線開通してから1年となりました。これまでの主な整備効果と交通状況についてお知らせします。

## 【全線開通から1年後の主な整備効果】

### 効果①：広域道路ネットワークの形成が企業の生産性向上を支援

・能登地域への新規企業の進出や輸送時間の短縮など、地域の経済成長に期待

### 効果②：北陸トライアングルの形成で周遊観光が活性化

・金沢～七尾～氷見間を周遊観光する訪問者数が約43%増加

### 効果③： 交通の転換による安全・安心な走行環境の確保

・ 七尾氷見道路開通以降、氷見市の国道160号の死傷事故が約65%減少

写真：能越自動車道七尾氷見道路の交通状況

## お問い合わせ先

**石川県の開通区間**


国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
金沢河川国道事務所　調査第二課　北出（きたで） 一雅（かずまさ）
〒920-8648 金沢市西念4丁目23番5号
TEL：076-264-9912（直通） FAX：076-233-9631

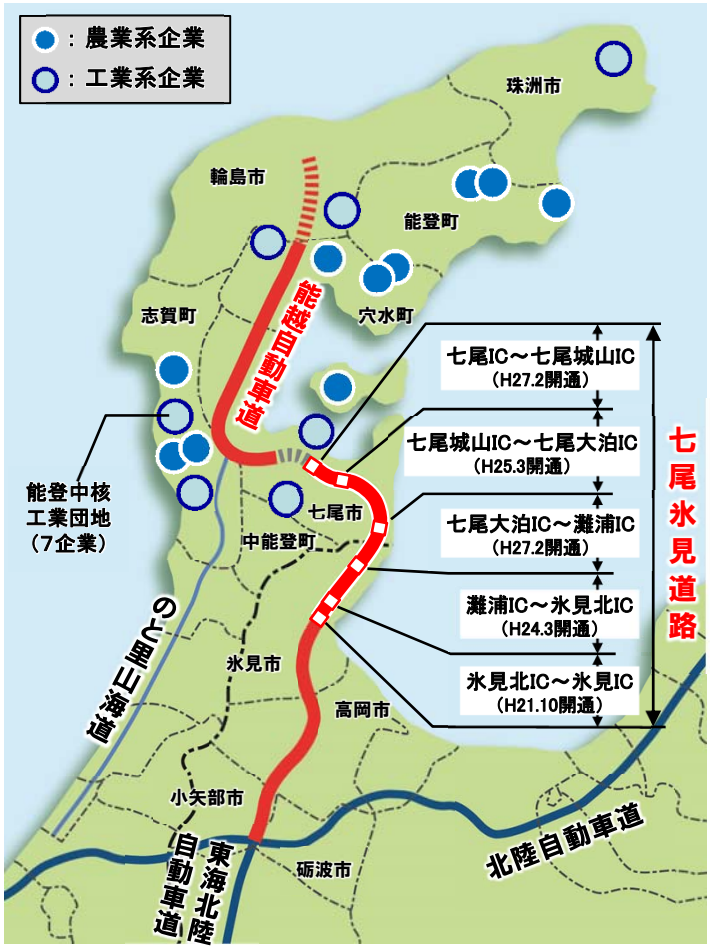

**富山県の開通区間**


パレットとやま
富山河川国道事務所　調査第二課　飴谷（あめたに） 卓也（たくや）
〒930-0837 富山市奥田新町2番1号
TEL：076-443-4717（直通） FAX：076-443-4718

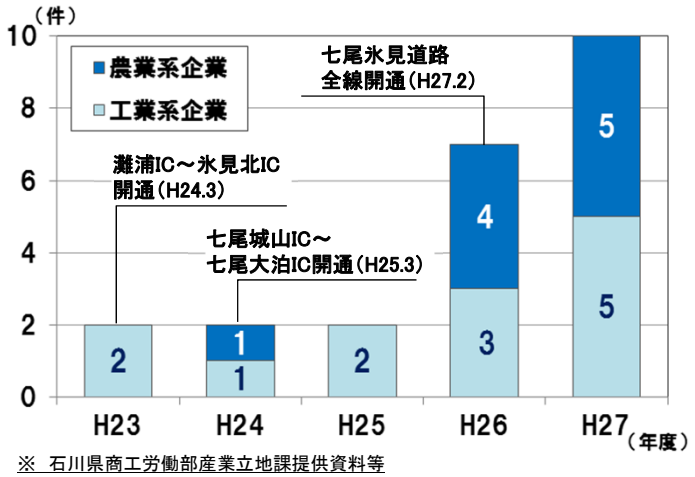
# 470 能越自動車道 七尾氷見道路開通による主な効果

## 効果①：広域道路ネットワークの形成が企業の生産性向上を支援

・七尾氷見道路の開通により、高速道路と能登地域が結ばれたことで、能越自動車道沿線に工業系や農業系の新規企業が多く進出
・七尾氷見道路の開通が、輸送時間の短縮による業務効率向上やドライバーの負担軽減など、物流効率化・企業の生産性向上を支援し、地域の経済成長に期待




### 【能登地域への新規進出企業数の推移】




※ 石川県商工労働部産業立地課提供資料等

### 【新規進出企業の声】

中京・関西への配送拡大が見込め、「能登里山里海」の世界農業遺産認定※1もあって、能登地域（穴水町）への工場、農場進出を決めました。

※ 株式会社ミスズライフへのヒアリング調査（H27.12月実施）

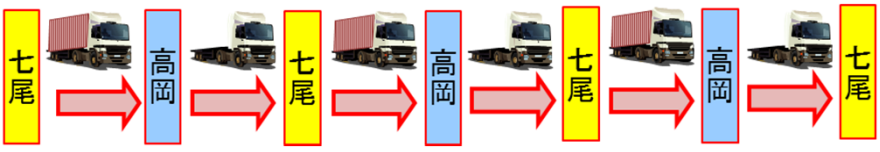
※1 伝統的な農業・農法、農村文化・農村景観などを一体的に維持保全し、次世代へ継承するためのシステムを世界農業遺産として認定することで保全につなげていく。国内では「能登里山里海」を含め、全8箇所が認定

### 【輸送時間短縮効果（七尾～高岡間）】

主に液化天然ガス、原木材、合板の輸送をしていますが、七尾氷見道路全線開通により、「七尾～高岡」間の輸送時間が約15分短縮し、1日2往復から3往復が可能となりました。
→ 荷主のニーズに対応しやすくなり、仕事も増加

開通前：2往復（7時～17時半）

開通後：3往復（6時半～18時）




### 【沿線企業の声（運送業）】

国道160号は、急カーブ、急勾配、狭いトンネル、通学路があり、ドライバーのストレスが大きかったです。七尾氷見道路は、安全・安心で、快適に走行できるため、ドライバーのストレスが軽減されました。

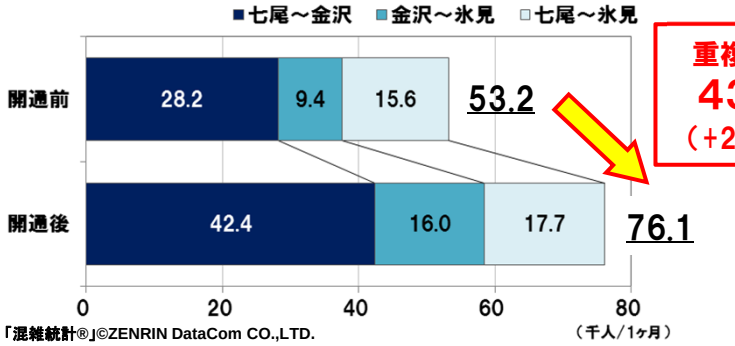
※ 七尾海陸運送株式会社へのヒアリング調査（H28.1月実施）

# 能越自動車道 七尾氷見道路開通による主な効果

## 効果②：北陸トライアングルの形成で周遊観光が活性化

・北陸新幹線、のと里山海道、能越自動車道により、金沢～七尾～氷見エリア間の重複訪問者が約43%増加※1し、北陸トライアングルが形成
・アクセス性向上と滞在時間の増加により、沿線地域を含む立ち寄り地が広域化※1

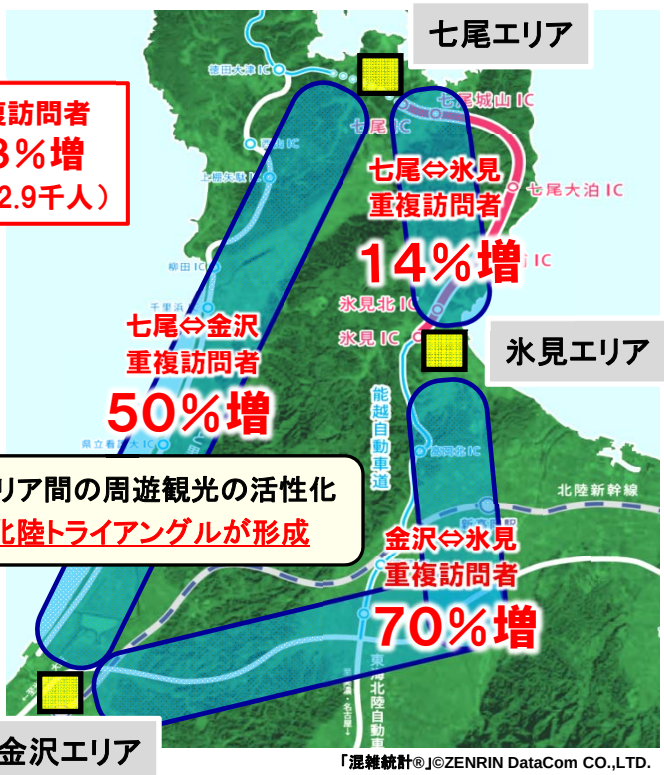
### 【金沢～七尾～氷見エリア間の重複訪問者数】




「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO.,LTD.

【対象期間】開通前：H26.10 / 開通後：H27.10【重複訪問者】各2エリアの両方を15分以上滞在した人数を集計

重複訪問者 43%増（+22.9千人）




「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO.,LTD.

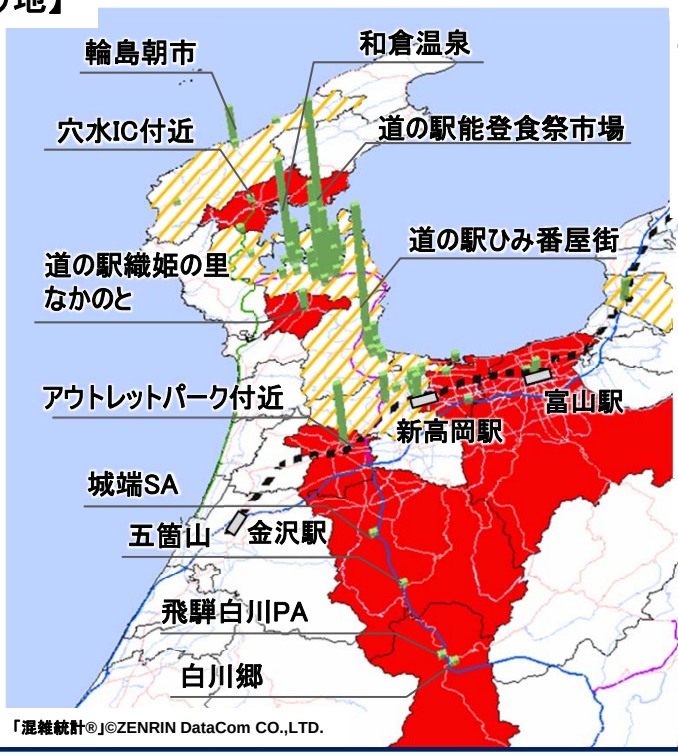
3エリア間の周遊観光の活性化
→ 北陸トライアングルが形成

**【北陸トライアングル】**
・富山県と石川県の「金沢」、「能登」の3拠点を結ぶ三角形
・北陸新幹線の開業により、周遊観光切符（北陸トライアングルルートきっぷ）が発売されるなど、このトライアングル地帯での観光等による地域活性化が期待

※「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は最短5分毎に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

### 【七尾氷見道路開通後の立寄り地】

■：開通後に立寄りが多くなった市町村（2千人以上）
▨：開通前から立寄りが多かった市町村（2千人以上）
棒グラフ＝立寄りのあった1kmメッシュ
高さ＝利用者全体のうち、最初に立ち寄った施設の割合




「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO.,LTD.

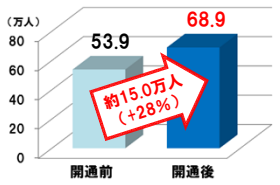
【対象期間】開通前：H26.8-10 / 開通後：H27.8-10
【立寄り人数】七尾氷見道路（七尾城山IC～七尾大泊IC）利用後、最初に15分以上滞在した1kmメッシュ別・市町村別の人数を集計

※1 データ分析は位置情報の集計により、訪問、立寄り状況を推定。「混雑統計®」のデータによる推定値であり、他の公表値等とは一致しない。

※ 図中施設名は1kmメッシュ内にある代表的な施設

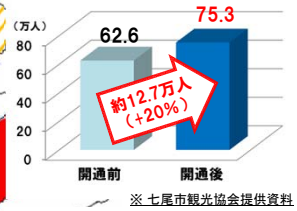
・沿線以外の市町村
・主要観光拠点
→ 立ち寄り人数が増加
→ 立ち寄り地が広域化

**【輪島朝市の来客数】**



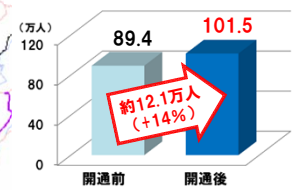

※ 輪島市観光協会HP

**【和倉温泉の浴客数】**




※ 七尾市観光協会提供資料

**【道の駅ひみ番屋街の来客数】**




※ 氷見市提供資料

※ 観光統計データ
開通前：H26.4-12合計値
開通後：H27.4-12合計値

### 【七尾氷見道路利用者の声】

・開通前は時間に余裕が無かったが、今回は余裕を持って行けました。
・他の地域の観光ができ、目的地にも行きやすくなりました。

※ 道路利用者アンケート調査（H27.11実施）

# 能越自動車道 七尾氷見道路開通による主な効果

## 効果③：交通の転換による安全・安心な走行環境の確保

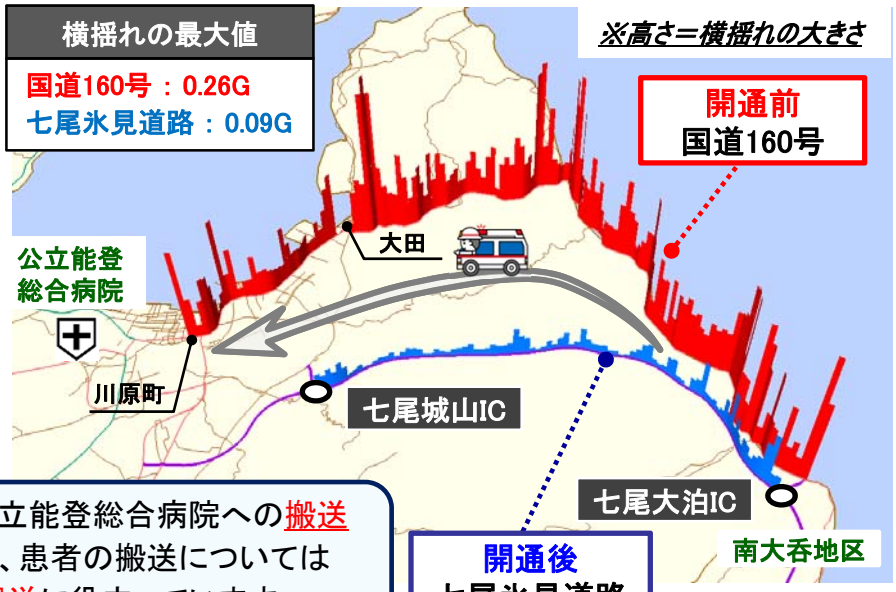
・七尾氷見道路の開通により、公立能登総合病院への搬送時間の短縮、振動や揺れの少ない安静搬送の実現など、安全・安心な地域の形成に貢献
・七尾氷見道路開通以降の交通転換効果により、氷見市の国道160号（交通量約73%減少）における死傷事故件数が約65%減少し、安全な走行環境が確保

### 【救急搬送時間短縮効果】

（南大呑地区～公立能登総合病院）

※ 七尾鹿島消防本部資料

### 【七尾氷見道路開通前後の搬送ルートでの横揺れ発生状況】



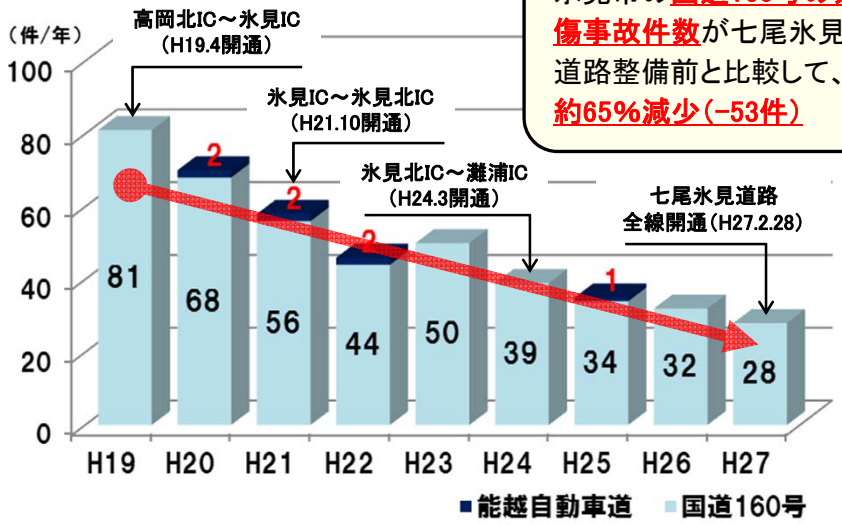

※ 横加速度調査（H27.4月実施）

### 【七尾鹿島消防本部の声 】

七尾市南大呑地区から公立能登総合病院への搬送時間が短縮しました。また、患者の搬送については急カーブ等が少なく安静搬送に役立っています。

※七尾鹿島消防本部へのヒアリング調査（H27.8月実施）

### 【氷見市の死傷事故件数の推移】




氷見市の国道160号の死傷事故件数が七尾氷見道路整備前と比較して、約65%減少（-53件）

※ H19-25年→ITARDAデータ・H26-27年→富山県の交通事故月報（富山県警察本部）

### 交通転換効果

| ② 七尾氷見道路（七尾大泊IC～灘浦IC） | ① 国道160号（富山-石川県境） |
|---|---|
| 【交通量 純増】 0台 → 43百台 | 【交通量 73%減】 41百台 → 11百台 |

※ 開通前→H26.3.1-H27.2.28平均　開通後→H27.3.1-H28.2.29平均

### 【沿線小学校の声（氷見市海峰小学校）】

・国道160号が通学路となる生徒が約40名います。
・七尾氷見道路全線開通後に国道160号の交通量が減少していると感じます。

※ 氷見市海峰小学校へのヒアリング調査（H28.2月実施）

# 能越自動車道 七尾氷見道路周辺の交通状況

**■ 休日や連休期間等での利用が多く、観光地へのアクセスルートとして機能**

① 七尾大泊IC～灘浦IC ： 最大 7,600台/日（SW期間）【平日比約105%増】

**■ 並行する国道160号から規格の高い七尾氷見道路への交通転換が進む**

② 国道160号（氷見市脇）： 4,100台/日 → 1,100台/日 【-3,000台/日（約73%減）】

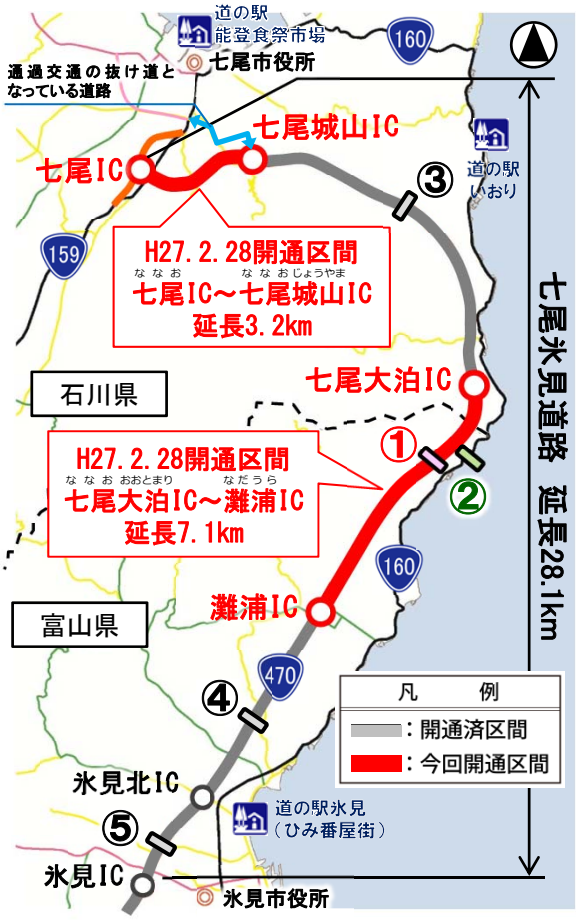
**■ 他の区間の交通量も増加しており、能越自動車道全体の利用が促進**

③ 七尾城山IC～七尾大泊IC（休日）： 3,300台/日 → 6,000台/日【+2,700台/日（約82%増）】

④ 灘浦IC～氷見北IC（休日）： 3,300台/日 → 6,600台/日【+3,300台/日（約100%増）】

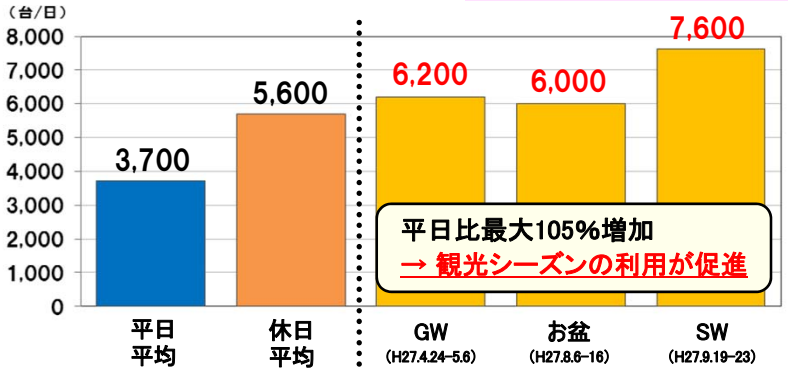
⑤ 氷見北IC～氷見IC（休日）： 4,200台/日 → 6,700台/日【+2,500台/日（約60%増）】

**■ 七尾氷見道路の開通により七尾城山ICへのアクセス道路が通過交通の抜け道として利用され、依然として生活交通との輻輳が続く**




## (1) H27.2.28開通区間

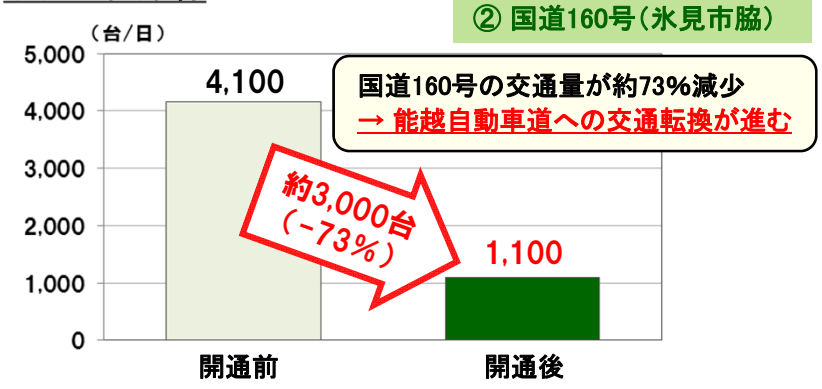
① 七尾大泊IC～灘浦IC




※ H27.3.1-H28.2.29 平休日別平均、対象期間の日平均交通量

## (2) 並行路線

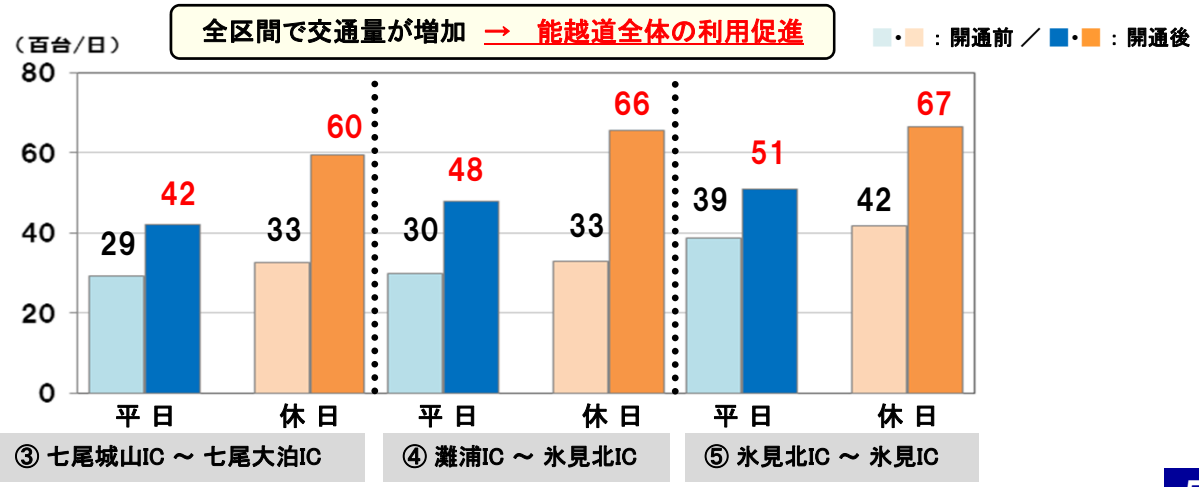
② 国道160号（氷見市脇）




※ 開通前→H26.3.1-H27.2.28平均　開通後→H27.3.1-H28.2.29平均

## (3) これまでに開通した区間

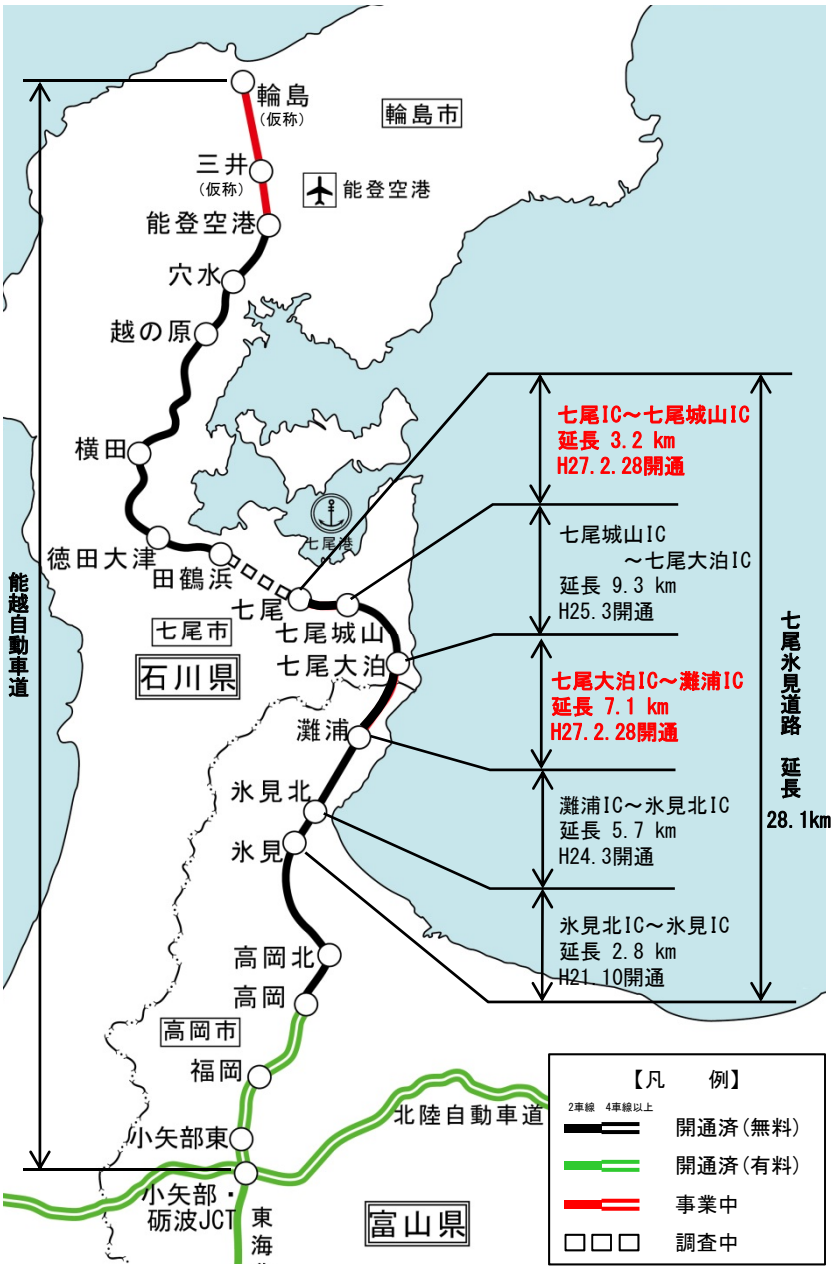
全区間で交通量が増加 → 能越道全体の利用促進




※ 開通前→H26.3.1-H27.2.28平休日別平均　開通後→H27.3.1-H28.2.29平休日別平均

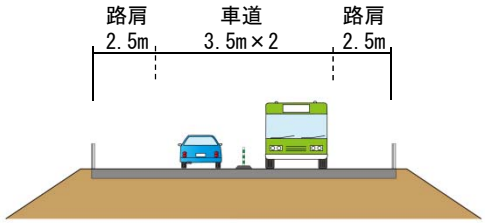
# 470 能越自動車道 七尾氷見道路の概要

| | |
|---|---|
| 区　　間： | 石川県七尾市八幡（七尾IC）～富山県氷見市大野（氷見IC） |
| 延　　長： | 28.1km ※無料の自動車専用道路 |
| 車 線 数： | ２車線（暫定） |
| 事業経緯： | H8年度　事業化 |
| | H10.07　都市計画決定（七尾大泊IC～氷見IC間） |
| | H12.02　都市計画決定（七尾IC～七尾大泊IC間） |
| | H21.10　氷見北IC～氷見IC　延長2.8km 暫定２車線開通 |
| | H24.03　灘浦IC～氷見北IC　延長5.7km 暫定２車線開通 |
| | H25.03　七尾城山IC～七尾大泊IC　延長9.3km 暫定２車線開通 |
| | H27.02　七尾IC～七尾城山IC　延長3.2km 暫定２車線開通 |
| | 七尾大泊IC～灘浦IC　延長7.1km 暫定２車線開通 |

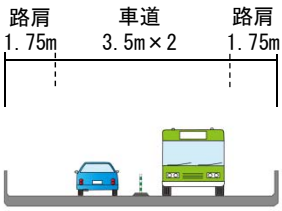


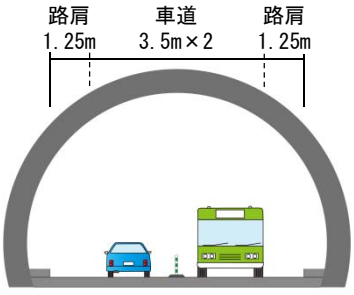

標準横断図（暫定2車線）

一般部




橋梁部




トンネル部